すぐに わかる えびののこと いっき わかい えびのんこっ



はまった島内

ち か し き よこあな ぼ ぐ ん

地下式横穴墓群

くにしていじゅうようぶんかざい - 国指定重要文化財 -



島内地下式横穴墓群から出土した銀象嵌 龍 文大刀(6世紀前半と推測・全 長 98.6 cm)

しれきしみんぞくしりょうかんえびの市歴史民俗資料館

こふんじだい 古墳時代ってどのくらい前?	
それは、どんな時代だったの?・・・・・・・	(
ちかしきょこあな ぼ ところ 地下式横穴墓のある 所 は?・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
^{ちかしきよこあな ぼ} 地下式横穴墓ってどんな 形 なの?・・・・・・	4
しまうち ごうちかしきょこあなぼ ちょうさ もしきず 島内I39号地下式横穴墓の調査による模式図・	5
しまうち ごうちかしきょこあなぼ しゃしん 島内I39号地下式横穴墓の写真だよ・・・・・	6
ふくそうひん おお はっけん 副葬品が多く発見されるのはなぜ?・・・・・・ '	7
ばんしつ おんど しっと 玄室の温度と湿度は? ・・・・・・・・・・・ '	7
ふくそうひん こふん はい どんな副葬品が古墳に入っていたの?・・・・ 8	}
びんな人が古墳に入っていたの?・・・・・・ II	
しまうちこふんおおいゃ 島内古墳覆屋・・・・・・・・・・・・ 2	
しれきしみんぞくしりょうかん しまうちちかしき えびの市歴史民俗資料館では島内地下式	
よこあなぼぐん じゅうようぶんかざい てんじ 横穴草群 重 亜 文化財の展示をしています・・・して	3

古墳時代ってどのくらい前? それは、どんな時代だったの?



きゅうせっきじだい じょうもんじだい やょいじだい つぎ こふん 旧石器時代・縄文時代・弥生時代の次が古墳

時代です。 (3世紀半ば~7世紀前半。今から

1700年から1300年位前)

古墳時代は、ヤマト 数権が 九 州 から東北 ちょうまで でを一つの国にまとめていこうとして いた時代です。



写真:飯野村古墳の中のひとつで、通称「千人」 が、 はらだちく えんぶん 塚古墳」(えびの市原田地区)円墳

いいのそんこふん

東西500m、衛北1,100mの範囲に古墳時代中期 後半~後期(5世紀中葉~6世紀代)の墳墓が 数百基分布していると推定される。その中で 唯一残っている円墳(推定直径23m)。 昭和10年7月2日、県指定 史跡。



しきれん こきばるこふん 写真:小木原古墳(えびの市上江地区)地下式横穴墓 こきばるこふん 小木原古墳

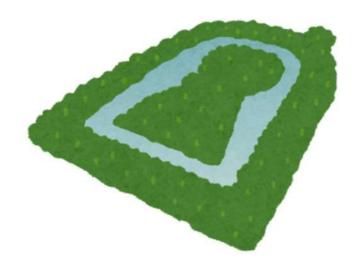
東西1,350m、衛北500mの範囲に数群(小木原2・ 一、久見道2)に分かれて400基以上が確認されている。現在、小木原地下式横穴墓郡と総称している。5世紀初頭から6世紀後半にかけて営まれた古墳群である。

その中で唯一残っている円墳(直径10m)。 平成21年3月6日、市指定 史跡。 3世紀になると、一族の長や、地域の王となりつつあった有力者などが、地位や力を墓にある。

参考文献『考古学から学ぶ古墳入門』P31

なかでももっとも大きな古墳は、大阪府にある大仙古墳(仁徳天皇の墓である仁徳天皇凌とされています)で、古墳そのものの全長が525m もある前方後円墳で5世紀のはじめにつかんがくられたと考えられています。

参考文献『親子でまなぶたのしい考古学』P65



ぜんぽうこうえんぶん れんけい ちょうほうけい れんけつ かたち ぶんきゅう 前方後円墳 (平面が円形と長方形ないし台形とを連結した形の墳丘)

墳丘:上に土や石を積み重ねて丘のような形をした墓。

*** しきょこあな ぼ ところ 地下式横穴墓のある所は?



しゅ ぜんぽうこうえんふん へいゃぶ ちかしき 主として、前方後円墳は平野部に、地下式

よこあなぼ みやざきへいや おおよどがわりゅういき かくとうぼんち 横穴墓は宮崎平野と大淀川流域と加久藤盆地・

おおくちぼんち きもつきへいや いたいしづみせっかんぼ せんだいがわ 大口盆地・肝属平野に、板石積石棺墓は川内川

りゅういき ぶんぷ 流域に分布しています。

参考文献:鹿児島大学総合研究博物館『九州南部における古墳時代鉄器の基礎的研究』2014

えびの市では、地下式横穴墓が多く発掘され

ています。平成24年9月6日
一のかやざきけんしまうちちかしき
「宮崎県島内地下式
はこあなぼぐんしゅつどひん
横穴墓群出土品」は
くにしていじゅうようぶんかざい
国指定重要文化財
になりました。

みゃざきけんしまうちちかしきょこあなほぐんしゅつどひん だいひょうてき ←宮崎県島内地下式横穴墓群出土品(代表的なもの)

古墳時代中期〜後期(5〜6世紀)の遺物。

はまうちもかしままごをない。
島内地下式横穴墓の出土品のうち、遺存状態
の良好な1029点が指定され、本市で所蔵

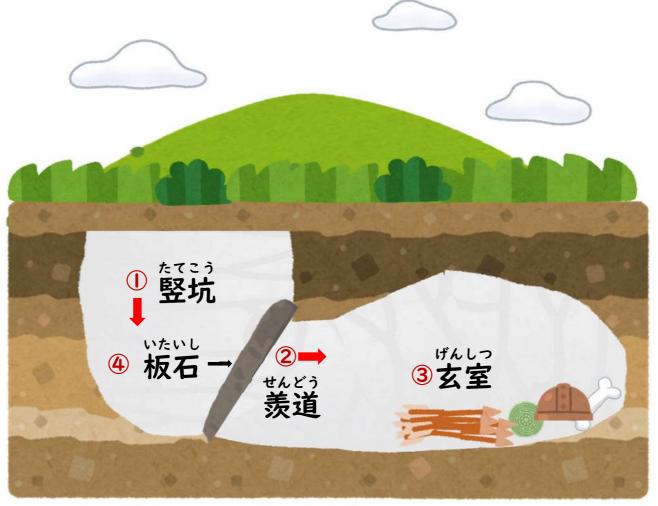


* かしきょこあな ぼ かたち 地下式横穴墓ってどんな 形 なの?

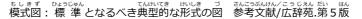
- しめん ①地面からまっすぐ下へ穴(竪坑)を掘り、
- ②穴の底からさらに横へ穴(羨道)を掘って
- ③その奥に空洞(玄室)をつくり遺体をおさめます。
- せんどう いりぐち いたいし つち かたまり 4 羨道の入口は板石や土の 塊 でふさぎ、

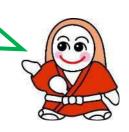
たてこう 竪坑も埋めてしまいます。

参考文献『みやざきの埋蔵文化財ハンドブック』P17

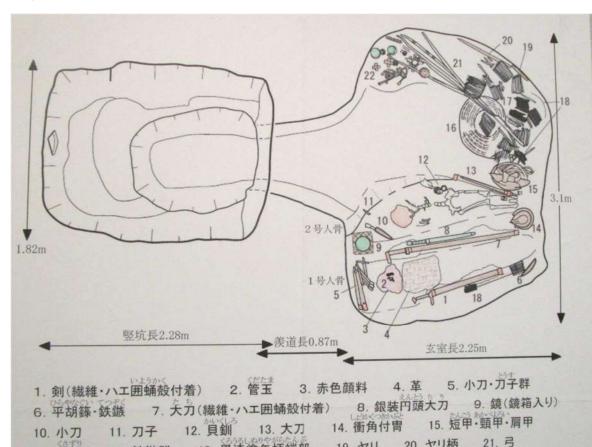


しまうち ごうちかしきょこあなぼ ちょうさ 島内139号地下式横穴墓の調査 たよる模式図です



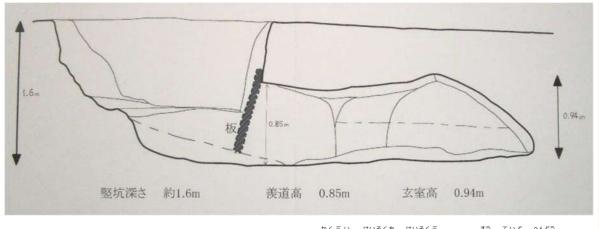


↓上からの模式図



- 16. 草摺 17. 鉄鏃群 18. 黒漆塗矢柄端部 19. ヤリ 20. ヤリ柄 21. 弓
- 22. 馬具(2組)

ょこだんめん ず **↓横断面図**



各部位の計測値は計測部によって数m程度は変動します。

しまうち ごうちかしきょこあな ぼ しゃしん 島内139号地下式横穴墓の写真だよ!

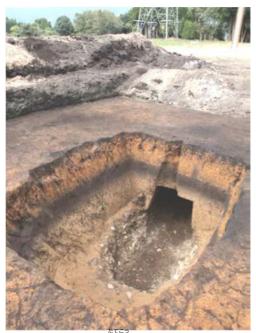
みとうくつ つち う かんぜん じょうたい 未盗掘で、土に埋もれず、完全な状態の

ふくそうひん たいりょう しゅつど 副葬品が大量に出土しました。

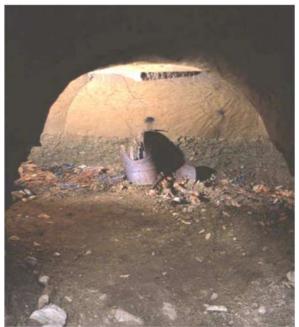
ふくそうひん **副葬品とは?**

できた。 ほうむ たんち 葬るとき、一緒に入れるもの。例えば、刀・剣・甲・冑・馬具 ・農具・青銅製の鏡・首飾・腕輪・土器などです。

参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P71







↑羨道からのぞいた玄室内



↑玄室内中央部付近

出典:えびの市歴史民俗資料館パンフレット「えびの市 島内 139 号地下式横穴墓 調査速報」

ふくそうひん おお はっけん 副葬品が多く発見されるのはなぜ?



地下式横穴墓の形からもわかるように、 地下式横穴墓の形からもわかるように、 なか おんど しっど ひじょう あんてい 密閉された中の温度と湿度は非常に安定した

じょうたい 状態となります。

まはこの安定した温度と高い湿度が副葬品 の変りを良くしたと考えられています。

玄室の温度と湿度は?



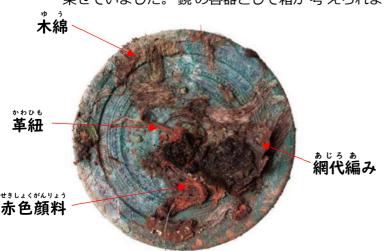
ずんしつ まんど いちねん とお 玄室の温度は一年を通して I 4 ~ I 5 ℃ほ どで安定しています。



どんな副葬品が古墳に入っていたの?

島内地下式横穴墓は、甲冑や刀剣、矢じり、 場内地下式横穴墓は、甲冑や刀剣、矢じり、 ボ島、農工具など鉄で作られたものが多く副葬 されています。副葬品は鉄のみでなく、木製の た巻かれていた紐、革製の紐、絹や麻製の布、骨 や角製の装飾品など、作り方がわかるほどの のうきがあれていたのです。

れい かがみ わせいばんりゅうきょう しまうち ちかしきょこあなぼ 例) 鏡(倭製盤龍鏡)島内139号地下式横穴墓



かせいばんりゅうきょう しまうち ごうちかし きょこあなぼ 倭製盤 龍 鏡 (島内139 号地下式横穴墓)

鏡の写真とX線CT画像

2016.12.18 えびの市歴史民俗資料館 企画展 講演会レジュメ 島内139 号墓の調査とその後の新発見-刀剣を中心に-橋本達也(鹿児島大学総合研究博物館)



わせいばかりゅうきょう しまうち こうちかしきょこあなぼ 倭製盤 龍 鏡 (島内139 号地下式横穴墓) せん がぞう X 線CT 画像

しまうちちかしきょこあなぼぐん くにしていじゅうようぶんかざい 島内地下式横穴墓群 国指定重要文化財の

いちぶ しょうかい 一部を紹介します。



ぎんぞうがんりゅうもん た ち・銀象嵌 龍 文大刀

しょじ クサビガシラ た ち せいきだい りゅう そうがん ゆう せんこく れい 上 級 クラスが所持する 楔 頭 の大刀で、6世紀代に 龍 の象嵌を有するものは全国に 3 例 しかなく、その中でも 最 も遺存状態が良いものです。全 長 98.6 cm。



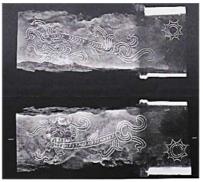




出典: えびの市歴史民俗資料館パンフレット 「島内地下式横穴墓群出土 重要文化財の解説」

全にはまちとこう (これがまったんまちがの意図的穿孔) が 細元孔 (刃部末端関部の意図的穿孔) 部 に連弧輪状文 (太陽か) の象嵌があり、 をうとう な武勲 に対するヤマト 政権からの 下賜かと思われます。

か し こうき ひと Uk ひと foo &k 下賜:高貴の人が下の人に物を与えること。 まれこラスト、レトン こうじまれ だい はれ 参考文献/広辞苑.第5版



↑鹿児島大学総合研究博物館『x 線 CT 調査による古墳時代甲冑の研究』2018より

たんこう ・**短甲**

履むしています。 また たんこう てん をたま また かぶと てん あかくよるい かたよるい わきあて ここで すねあて しゅっと 胴を守る短甲 5 点と 頭 を守る 冑 3 点があり、頸 甲・肩 甲・脇当・籠手・臑当は出土して いないが、腰から膝までを守る草摺は皮革製の痕跡 1 例が確認されています。ヤマト政権下での一元生産で、下賜されたものです。主に 5 世紀後半のもので、さらに未指定が 2 点あり。

さんかくいたよこはぎいたへいようびょうどめたんこう 三角板横矧板併用鋲留短甲



よこはぎいたびょうどめたんこう 横矧板鋲留短甲



かぶと • **胄**

三種類あり、革綴が古く、新しくなると鉄の鉄に代わります。いずれも遺存状態が 食好です。さらに未指定が2点あります。

さんかくいたかわとじしょうかくつきかぶと三角板革綴衝角付 冑

こざねびょうどめしょうかくつきかぶと 小札鋲留衝角付 冑

よこはぎいたびょうどめしょうかくつきかぶと横矧板鋲留衝角付冑







だこうけん ・**蛇行剣**

 $^{rac{tf,h5z}{5}}$ 全長30. $1\sim$ 69.6~cmで大中小のサイズがあります。



ば ぐ ・**馬**具



くつれ

馬の口にくわえさせ、手綱を付けて馬を 制御する道具です。

そうしんぐ ・装**身**具

ガラス<u>いま</u>

15号墓の壮年女性の左腕に紺色のガラス小玉61個からなるブレスレットが装着されていたほかは2点しか出土していません。

出典: えびの市歴史民俗資料館パンフレット 「島内地下式横穴墓群出土 重要文化財の解説」

どんな人が古墳に入っていたの?

こふん まいそう じんこつ しら ねんれい 古墳に埋葬された人骨を調べると、年齢や

世別、身長などの他に、その人の病気や健康

じょうたい しいん しゅうかんてき こうどう しゅっさんけいけん 状態、死因、習慣的な行動、出産経験など

参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P81

も分かることがあります。

また、副葬品や、その内容の

組み合わせ、量によって埋葬された人の地位

ったが の違いを指摘することもできます。

参考文献『もっと知りたい宮崎の古代』P77

ヤマト政権との関係をあらわす副葬品が、

しまうち こうぼ たいりょう しゅつど 島内I39号墓から大量に出土して

います。今後の分析の進展により解明

されてくることもあるかもしれません。

しまうちちかしきよこあな ぼ ろうにゃくなんにょわまた、島内地下式横穴墓は老若男女分けへ

3世代まで入っている場合もあります)

しまうちこふんおおいや 島内古墳覆屋

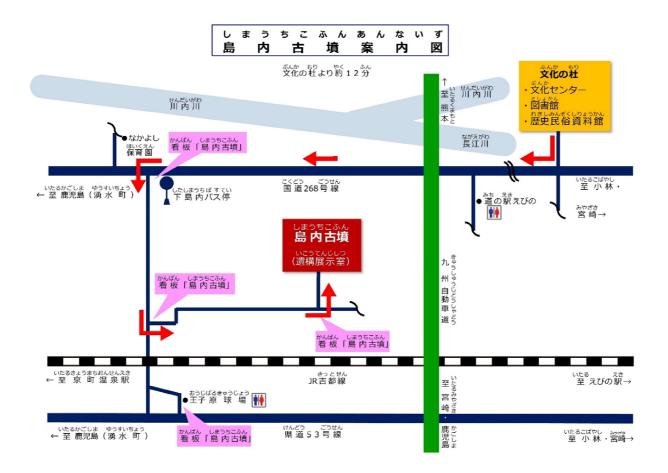
学説26年(2014)3月に開設されました。 「横穴式岩室紫板積岩棺墓」が展示してあります。

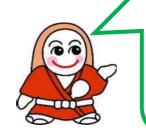






しまうちこふんおおいや あんないず 島内古墳覆屋への案内図です。





えびの市歴史民俗資料館では しまうちちかしきよこあなぼぐん じゅうようぶんかざい 島内地下式横穴墓群 重要文化財 でんじ の展示をしています。

P9~PIOに掲載されている副葬品(銀象嵌

りゅうもんた ち だこうけん かぶと ば ぐ てんじ 龍 文大刀・蛇行剣・ 冑 ・馬具など)を展示し

ています。ぜひ、実物をご覧ください。



↑ えびの市歴史民俗資料館 展示室

りんせつ しゅんとしょかん しょうちちかし きょこあな ぼ かん しりょう か だ 隣接するえびの市民図書館では、島内地下式横穴墓に関する資料の貸し出しもしております。

ご利用ください。 えびの市民図書館 (お問い合せ) TEL: 0984-35-0242 FAX: 0984-35-3040 <資料名>

しまうちちかしきよこあなぼぐん 『島内地下式横穴墓群』 『島内地下式横穴墓群 II 』

『島内地下式横穴墓群Ⅲ 岡元遺跡』 『島内地下式横穴墓群Ⅳ』

『島内地下式横穴墓群V 灰塚地下式横穴墓群』

『島内地下式横穴墓群VI 灰塚地下式横穴墓群 II 』

『島内139号地下式横穴墓Ⅰ』

『重要文化財指定記念 特別展 ―島内地下式横穴墓群出土品1029点―』

<参考文献>

〇書籍

・著者:松木武彦 編 書名:『**考古学がら学ぶ 古墳入門**』 出版社:講談社 発行年:2019年6月 P31~32

・著者:山岸良二 さかいひろこ 書名:『親子でまなぶ楽しい考古学』 出版社:同成社 発行年:2018年7月 P65

・著者:橋本達也編 書名『**九州南部における古墳時代鉄器の基礎的研究**』 出版社:鹿児島大学総合研究博物館 発行年:2014年8月

・著者:宮崎県立西都原考古博物館編 書名:『もっと知りたい宮崎の古代』 出版社:鉱脈社 発行年:2017年3月 P71、P75、P77、P80、P81

・著者:吉村靖徳 書名:『**九州の古墳**』 出版社:海鳥社 発行年:2015年12月 P162~163

・著者: えびの市教育委員会 編 書名: 『えびの市の文化財』 発行者: えびの市教育委員会 発行年: 2013年3月 P4

・著者:えびの市教育委員会 編書名:『**島内 139 号地下式横穴墓 I**』 発行者:えびの市教育委員会 発行年:2018年3月

・著者:中野和浩 書名:史談会『**えびの45号**』 発行年:2011年5月 発行者:えびの市史談会 P11~14

〇えびの市歴史民俗資料館 館内パンフレット

· 「えびの市 島内 139 号地下式横穴墓 調査速報 | 発行年: 2015 年 1 月

- ・「島内地下式横穴墓群出土 重要文化財の解説|
- ・「南九州の古墳」
- 「資料館のみどころ」

〇その他 (冊子など)

- ・2016.12.18 えびの市歴史民俗資料館 企画展 講演会レジュメ 島内139 号墓の調査とその後の新発見-刀剣を中心に-橋本達也(鹿児島大学総合研究博物館)
- ・ふるさと散歩 No.138 (広報えびの 2010 年 4 月号) 重要文化財の大刀 発行: えびの市
- ・『**みやざきの埋蔵文化財ハンドブック**』 発行:宮崎県埋蔵文化財センター P17

発行/2021年5月

しれきしみんぞくしりょうかん えびの市歴史民俗資料館

〒889-4311 宮崎県えびの市大字大明司2 I 4 6-2 TEL/FAX 0984-35-3144



ノカイドウ自生地(国指定天然記念物 所在地:えびの高原)